



多數のご参加ありがとうございました 子どもの未来を語る会

新年明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

1月11日は、朝早くから保護者、地域の皆様に多数参加いただき、子どもの未来を語る会を開催いたしました。今回のテーマは、「安全・安心なまちづくり」。

野田町自治会長であり建築の専門家の小粥吉美様に講演をいただいた後、参加者全員がグループに分かれ、活発な討議を行いました。

そして、最後には、本校のコミュニティスクールを支援いただいている三重大学の織田先生から、防災・防犯対策についての話でまとめていただきました。

子どもたちが暮らしやすい町を作るということは、そのまま水沢の町が活性化することにつながるという視点から、今回は多様な意見が出され、とても意義のある会になりました。特に、地域の方からの「わしは水沢の町が大好きなんや」という言葉には、深い感銘をおぼえました。

テレビでは、震災被害に遭った東北地方のある町の成人式の映像が流れていきましたが、故郷（ふるさと）を失ってしまった若者たちの深い悲しみに共感とともに、子どもたちにとって、この水沢の町が胸をはれる故郷になるよう、わたしたち大人はたゆまぬ努力をしていかねばならないという思いを持ちました。

早朝から、ご参加いただきました地域の皆様、そして、会場準備をいただいたり、お茶や菓子を用意いただいたりしましたPTAの皆様に、紙面を借りて御礼申し上げます。



講師の小粥さん



視聴覚室はほぼ満席



講演後は、分散会



「あられ」の煎り方を教えていただけませんか



表の内容とも関わってくるのですが、生活様式がどんどん変わってきて、新しくなって便利になる反面、大切な物まで失われていっているような気もします。

子どもたちにとって良き故郷というのは、昔の良き伝統が残っているものではないでしょうか。時代が変わっても残しておきたいものがたくさんありますよね。世の中の流れに乗りながらも、一方では古き良きものを大切にする、そんな教育を進めていければと思っています。

さて、3年生の社会科で「昔のくらし」という単元があります。ひょんなことから、昔はどこの家庭でも煎っていた「あられ」の話が出て、これは、ぜひ3年生の子どもたちにさせてみようということになりました。ところが・・・・経験のある教師がいないのです。かくいう私も食べたことはあっても、自分で煎った経験がないのです。（都会で育ったわけではないですが・・・）

そこで、次のきらら全員協議会では、地域の皆様と一緒に（教えていただきながら）「あられ」作りをして、それをつまみながら雑談したいなあと考えています。そして、教えていただいた後、大きな顔をして、3年生の子どもたちに指導しようかと考えています。（笑）

水沢では、各家庭独特のこだわりやレシピがあるとも聞いております。ぜひ、そのノウハウを教えてください。もちろん七輪や道具類は学校で準備します。よろしくお願いします。

第4回きらら全員協議会 2月26日(水)

時 間 14:20~16:20 (予定)

場 所 水沢小学校 家庭科室



火の用心！！ 防火指導を行いました

冬は、空気が乾燥しているために、火災が発生しやすくなります。

学校でも、始業式や学級指導で、時間を取って、子どもたちに防火について話をしました。私の同僚は、家族が誤ってストーブにガソリンを入れてしまい、家から車、お金すべてを灰にしてしまいました。命は守れたものの、アルバムをはじめとする家族の「思い出」が消えてなくなつたことが一番悲しかったそうです。どうか、子どもの火遊びをはじめとして、火の管理には十分ご注意いただきますようお願いします。